

I 研究の概要

1 研究主題

Let's say "Hello" !

～コミュニケーションを楽しむ外国語活動の授業づくり～

2 研究主題設定の理由

- ① 平成23年度から高学年において年間35時間の「外国語活動」が全面的に実施になった。担任がT1として指導することが望ましいのだが、十分な研修を受けていない教員が多く、どのように教えればいいのか分からずに戸惑っているのが現状である。そのため、実際にはALTに任せて授業を進めることが多くなっている。しかし、3年後の平成32年度には新学習指導要領が全面実施となり、高学年は「英語」が教科として年間70時間、中学年が「外国語活動」として年間35時間の授業を行うことが決まっている。さらに、それに先駆けて中野区では、平成29年度から中学年でも年間20時間の外国語活動が先行実施されることになった。また、平成32年度には高学年において英語の教科化が先行実施されることが確実となっている。この現状を鑑みると、教員がT1として自信をもって外国語活動の授業を進められるよう、指導法や簡単なクラスルームイングリッシュ等を研修していく時間が必要になってくる。
- ② 国際都市である東京には、様々な国から観光客が訪れる。平成32年には東京オリンピック・パラリンピックが控えていることもあり、この数年でさらにグローバル化が急速に進み、外国人の人々と関わりをもつ機会が増えることが予想される。簡単な英会話だけにとどまらず、意思の疎通を図る場面も生じてくると考えられる。そのときに使われるのは、国際共通語としての英語である。これからの時代において、自分の思いを英語で伝えたり、相手の思いを英語で理解したりするという能力が必要不可欠になるため、その育成や能力の向上が大きな課題になってくる。
- ③ 本校では、これまで「豊かなかかわり合いをもてる児童の育成」をテーマに、算数や国語、ソーシャルスキルトレーニングなどの授業研究を行ってきた。学習を通して児童がお互いに認め合い、高め合える雰囲気を作り出すことの必要性を何年も前から感じ、そのために研究を重ねてきている。

上記の①で述べた背景、②で述べた必要性、③で述べたこれまでの積み重ねを踏まえた結果、今年度、本校では「コミュニケーションの楽しさを実感できる外国語活動の授業づくり」をテーマに校内研究を進めることとした。研究にあたり、本校が考える「外国語におけるコミュニケーション」の定義を設定し、どのような活動をすれば他者とのコミュニケーションが図れるのか、コミュニケーションの楽しさを感じることができるのかをモデル授業を基にして考えていきたい。研究を進めていく上では、ALTを効果的に活用しながら児童も教員も外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいけるような活動を考え、実践し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指す。そして、外国語教育の効果的な指導方法や指導内容の構築に取り組み、次年度に向けてだれもが自信をもって授業ができる「桃園スタンダード」の確立を目指していく。

3 研究の仮説（仮）

児童が外国語でコミュニケーションをとることを楽しめるようにするには、

↓

まず、教員が外国語でコミュニケーションをとることを楽しむ姿を見せる必要があるだろう。

↓

そうすれば、児童もより楽しみながら外国語でコミュニケーションをとるようになるだろう。

どういう状態が外国語で「コミュニケーションを楽しんでいる」といえるのか、共通認識を図ることで「教員のゴール」や「目指す児童像」の設定につなげる。そのため、年度初めにアンケートを実施する。

4 今年度の研究内容

①教員がT1として英語の授業を進められるようになるための研修

②年間指導計画の作成

5 研究内容

この組織ができることが理想だが、今年度は難しいかも…

(1) 研究組織

ア 研究推進委員会を中心に、ひまわり学級、低学年、中学年、高学年の各分科会を組織する。

イ 授業部会と環境部会の2つの部会を組織する。それぞれに各学年から1名ずつ入ることとする。ひまわり学級教員や専科教員も2つに均等に分かれる。

授業部会…年間指導計画の作成や1単位時間の授業の流れの検討

環境部会…クラスルームイングリッシュ、ゲーム・アクティビティのリストアップ

(2) 組織図

研究全体会

研究内容、研究方法、授業研究等について情報を交換し、主に、外国語活動の学習指導やそのほかの実践について、研究の累積を行う。

研究推進委員会（低・中・高学年・ひまわり・専科）

研究内容、方向等について協議し、研究についての企画・立案・推進を行うとともに、各分科会、分掌との有機的な連携を図る。研究にかかわる情報の収集・発信を行う。

低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会	ひまわり学級分科会
1年生担任 2年生担任 専科	3年生担任 4年生担任 専科	5年生担任 6年生担任 専科	ひまわり学級担任 専科
研究主題と児童の実態を基に、育てたい資質・能力を明らかにし、単元開発及び授業実践、教材開発等を通して、授業、年間指導計画の検討と改善を行う。			

授業部会 授業づくり中心	環境部会 授業を側面から支える 日常に外国語を生かす
<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の検討、作成 1単位時間の授業の流れの検討 	<ul style="list-style-type: none"> クラスルームイングリッシュのとりまとめ ゲーム、アクティビティのリストアップ

(3) 研究方法・内容

① アンケートの実施

- 教員向け…指導の実態把握・教師が目指すゴールの設定・年度初めと年度末での変容
研究主題の共通認識・目指す児童像の設定
- 児童向け…外国語学習の経験把握・外国語を学ぶ動機づけ
学校の授業に対する意識・年度初めと年度末での変容

② 伝達講習を受けての研修

③ モデル授業の提案・研究協議

④ 伝達講習・モデル授業を踏まえての授業公開・研究協議

⑤ 各クラスで授業を進めた上での成果・課題を持ち寄り、来年度の進め方を検討

⑥ 年間指導計画・1単位時間の授業展開の作成

⑦ 授業に必要な教材・教具の作成・整理

⑧ 授業で使えるクラスルームイングリッシュの習得

⑨ 授業で使えるゲーム・アクティビティの構築